

なすしおぼら ボランティアセンター情報誌

令和6年9月20日号



ボランティア同士のつながりづくりの場として、8月28日（水）に、第1回ボランティア交流会を開催しました。ボランティアセンターに登録している個人ボランティアや団体、22名の参加がありました。

活動紹介や活動に対する思いなど自由に話してもらい、参加者からは「たくさん意見交換できて良かった」、「他の団体とのつながりができて良かった」などの声が聞かれました。

あっという間の2時間でしたが、ボランティア同士の交流や情報交換が活発に行われ、つながりの輪を広げることができた交流会となりました。

活 動 紹 介

今年の夏は猛暑日が続き外に出るのも一苦勞でしたが、施設や生きがいサロンで、たくさんのボランティアが活躍していました。その一部を紹介します♪

舞の会



7月9日（火）居場所はつはるにて、舞の会が活動しました。

『島田のブンブン』、『銭形平次』など計5曲の踊りを披露しました。曲により表情や動きがガラッと変わり、迫力のある踊りで参加者を楽しませました。踊る曲に合わせて着物を替えて登場すると、「あら～！きれい」、「素敵ね～」などの声が上がりました。最後に全員で『青山脈』と『高校三年生』を歌い、終わりとなりました。とてもアットホームな雰囲気の中で行うことができた活動でした。



二胡ハーモニー 金の星



7月12日（金）、鍋掛東町で行われている生きがいサロンで、二胡ハーモニー金の星がコンサートを行いました。

全部で三部に分かれており、一部は中国・アイルランド・韓国・インドネシアの世界の音楽を二胡で奏でました。二部では、廃材から作られている二胡は、使われる木の種類によって音色が変わるとのことで、聴き比べをしました。三部は、懐かしの歌を二胡の演奏と共に歌いました。

参加者に楽器の説明を交えながら実際に触らせてくれ、たっぷりと二胡の魅力に引き込まれたコンサートになりました。



黒磯ハモニカ会

7月29日（月）に黒磯ハモニカ会が、多機能型事業所「はな」で演奏会を行いました。
 ハーモニカの説明も含め、1時間程で計13曲も演奏をしてくれました。懐かしい曲や、童謡のメドレーなど、様々なジャンルの曲を素敵なハーモニーで奏でてくれました。となりのトトロの曲『さんぽ』では、利用者も大きな声で歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりと楽しんでいる様子でした。アンコールは、大人気だった『さんぽ』のリクエストがあり、最後まで大盛り上がる演奏会でした。



メイプル・オハナ ウクレレサークル

7月31日（水）にメイプル・オハナウクレレサークルが、デイサービスあおばにて演奏会を行いました。

ハワイアンソングを演奏したり、簡単なフラダンスの振り付けとともに、全員で『瀬戸の花嫁』に合わせて踊ったりしました。最後は、さようならを意味する『アロハ・オエ』で締めくくりました。心落ち着く素敵な音色に利用者も癒されていたと思います。ゆったりとした素敵な時間が会場に流れていました。



8月21日（水）鍋掛公民館で行われた高齢者学級で、塩原のかたりべが民話10話を披露しました。

思わず笑ってしまうような話や、切ない話、涼しくなるような怖い話に、参加者は耳を傾けていました。

語りの合間には、「お座敷小唄」の替え歌で「ボケません小唄」という塩原のかたりべオリジナルの唄を全員で歌ったり、最後に頭の体操を交えた手遊びを行い、楽しいひと時を過ごしました。



小・中・高校生のサマースクールを開催しました！

親子ボランティア体験教室 ～盲導犬体験教室～

7月28日（日）、8月4日（日）の2日にわたり、市内の小学4～6年生の親子を対象とした、盲導犬体験教室を開催しました。今年度は、開催日を増やし、62組の親子、総勢132名が参加しました。東日本盲導犬協会から講師を招き、視覚障がいや盲導犬についての話や訓練実演をしていただきました。参加した小学生は、アイマスクを着けて、盲導犬と一緒に歩く体験歩行もしました。参加した小学生からは、「私も盲導犬訓練士になりたいと思った」「盲導犬に出会った時にやっていいことと、やってはいけないことが分かった」などの感想があり、保護者からは「親子で参加でき、子どもの感想なども聞けて、知らなかったことも知れて満足した。また、視覚障がい者への理解も深まった」などの感想がありました。



ボランティアサマースクール ～知的障がい疑似体験～

7月30日（火）、知的障がい啓発隊「カラフルBOX」を講師に迎え、高校生プログラムとして知的障がい疑似体験を行いました。19名の高校生が参加し、障がいについての講話を聞いたり、知的障がい・発達障がいがある方の見え方・聞こえ方・感じ方などを疑似体験しました。参加した高校生からは、「私たちの理解によって、障がいのある方の生きやすさも変わることを知った」「目に見えない障がいに対して、今の私たちにできることは、障がいのことを深く理解し、多くの人に伝えることだと分かりました」などの感想があり、体験をとおして、知的障がい・発達障がいへの理解を深めてもらうことができました。1人でも多くの理解者が増えることが、地域共生社会へつながっていきます。



ボランティアサマースクール ～災害ボランティア講座～

8月8日（木）、防災士の小泉信三氏を講師に迎え、中学生プログラムとして災害ボランティア講座を開催しました。参加した19名の中学生は、まず那須地域における災害の歴史や日本の地震の歴史、自助や共助に向けた心構えなどの講話を聞きました。次に、新聞紙スリッパとごみ袋でポンチョ作りをしました。最後に、非常食の試食として、カンパン、缶詰パン、水で戻したカップラーメンを食べました。この他、非常食や防災グッズ、非常用簡易トイレなどを展示していただきました。参加した中学生からは、「色々な災害について詳しく知ることができた。家に帰って防災ハザードマップを見てみようと思う。もし災害にあったとしても、周りの人たちと協力しようと思う」「地震はいつ起きるかわからないから、しっかり準備しておくことが大切だと思った」などの感想がありました。今回の講座をきっかけに、改めて災害や防災について考える機会になったのではないかと思います。





託児ボランティア活躍中!!



東那須野公民館で、親子ふれあい講座『だっこ!』が7月4日(木)に開催され、5名のボランティアが活躍しました。

途中で「ママは?」と不安そうにする子や泣いてしまう子もいましたが、ボランティアの優しい声掛けに安心している様子でした。子どもたちも、おもちゃで遊ぶ子、部屋の中を探検したりする子など思い思いの時間を過ごしていました。

託児ボランティアの皆さんのおかげで、楽しく安全に過ごすことができました。



元保育士、子育て経験者や子どもが好きな方などが、ボランティアとして活躍しています。

託児ボランティアに興味、関心のある方は、ボランティアセンターまでお気軽にお問い合わせください。



投稿記事

とようらささえ愛の会

とようら地区の福祉的活動を担っている、とようらささえ愛の会(とようら地区社会福祉協議会)では、令和6年7月9日(火)より、毎月第2火曜日に配食サービスがスタートしました。

とようら地区にお住いの自治会加入者で、75歳以上の一人暮らし高齢者を対象としています。お弁当を配達するのは、とようらささえ愛の会メンバーがボランティアで配達しています。この活動は、一人暮らし高齢者の見守りを兼ねた活動となっており、ささえ愛の会と地域住民のつながりのきっかけにもなっています。



※お弁当希望者、
配送ボランティア
ともに、随時募集中です。

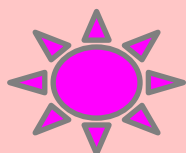
要約筆記入門講座（手書きコース）

～初めての方向けのミニ講座です～

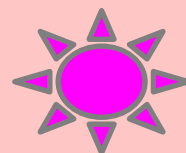
聴覚障害者（主に中途失聴者・難聴者）に対する情報保障の一つである、要約筆記を学ぶミニ講座です。日常生活の中でも活かすことができる技術を学ぶことができます。

講座の内容：要約筆記は、手で書く方法とパソコンを使用してキーボードで入力する方法があります。今回の講座は、手書きのコースになります。話し言葉をどう書けば正しく伝わるのか、伝える技術を学ぶことができます。

- 日 時：令和6年10月22日・29日・11月5日・12日（毎週火曜・全4回）
各回 午前10時～正午
- 会 場：10/22・29・11/12 東那須野公民館（那須塩原市東小屋474-11）
11/5 那須塩原市市民活動センターうえるる（那須塩原市大原間西1-11-10）
- 対 象：那須塩原市民（できるだけ全日程参加できる方）
- 定 員：15人（先着）
- 参加費：400円（教材代）
- 申込期間：令和6年10月1日（火）～10月15日（火）
- 申込方法：ボランティアセンターへ電話で申し込む
☎0287-47-6700（平日の午前8時30分～午後5時15分）
- 主 催：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会



認知症講演会



○認知症を心配している方へ

○認知症についてちゃんと知ろう

○お互いにとってよい関わり合い方

～認知症になっても自分らしく、安心して暮らすためのお話しです～

- 日 時：令和6年10月30日（水） 午後1時30分～3時（開場：午後1時10分）
- 会 場：那須塩原市社会福祉協議会ボランティアセンター（那須塩原市健康長寿センター内）
- 講 師：金澤林子氏（公益財団法人認知症の人と家族の会栃木支部代表）
- 定 員：40名
- 参加費：**無料**（事前申し込みをお願いします）
- 主 催：地域の居場所 ちいきカフェ“円と縁”
- 問合せ・申込：080-5684-0789（ちいきカフェ円と縁代表 鈴木）

予告!

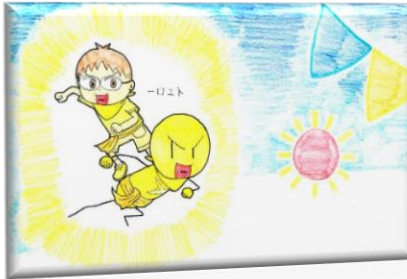
第1回ふれあい那須塩原 at 黒磯

～ みんなが共生する社会を目指して ～

日時：令和6年9月28日（土） 10：00～15：00

場所：那珂川河畔公園 石のステージ

内容：模擬店・ステージ発表など



※旧黒磯地区のイベントだったふれあい広場から、「オール那須塩原」の想いで全市を巻き込んだ地域福祉イベント「ふれあい那須塩原」として生まれ変わりました。

問合せ：ふれあい那須塩原実行委員会公式 LINE



義援金・救援金募集のお知らせ

日本赤十字社では、義援金・救援金を受け付けています。皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

令和6年能登半島地震災害義援金

受付期間 令和6年1月4日～令和6年12月27日

受付方法

- ①募金箱：社会福祉協議会本所、黒磯支所
- ②窓口受付：社会福祉協議会の本所及び各支所の窓口で受け付けています



ウクライナ人道危機救援金

受付期間 令和4年3月2日～令和7年3月31日

受付方法

- ①募金箱：社会福祉協議会本所
- ②窓口受付：社会福祉協議会の本所及び各支所の窓口で受け付けています



※受付期間は延長する場合があります。

ボランティア活動実績

7月	イベント他	17件	89人	8月	イベント他	12件	59人
	傾聴	11件	16人		傾聴	8件	14人
	福祉体験	6件	29人		福祉体験	0件	0人
	合計	34件	134人		合計	20件	73人

ボランティアセンター登録数（8月31日現在）

団体	個人
106団体（非公開含む）	88人

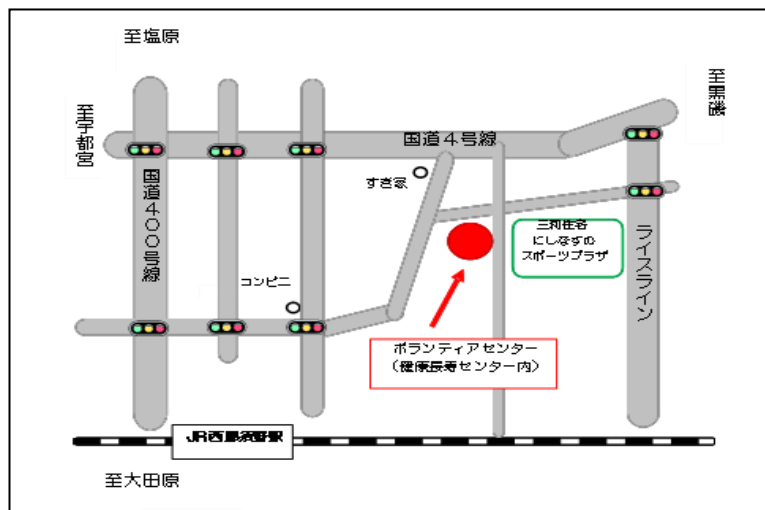


地域共生社会振興基金寄付者一覧（令和5年9月1日～令和6年8月31日）（敬称略）

- ・株式会社那須電設
- ・酪農とちぎ農業協同組合
- ・株式会社那須ミッドシティホテル
- ・有限会社那須クリーン
- ・株式会社瀬尾本店
- ・株式会社真田ジャパン
- ・そすいの郷ふるさとにしなす産直会
- ・那須野ヶ原ライオンズクラブ
- ・株式会社 Shikano
- ・石川建設株式会社
- ・那須塩原市一般廃棄物処理協同組合
- ・株式会社大島自販
- ・那須野農業協同組合

地域共生社会振興基金とは、地域共生社会の実現のため、那須塩原市社会福祉協議会が設置している基金です。

【ボランティアセンター】



ボランティア情報誌に掲載する 情報を募集しています♪

個人・団体の活動紹介や会員募集、投稿記事、イベント情報を掲載したいなどの情報をボランティアセンターまでお寄せください。情報誌は奇数月の20日に発行しています。



発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
ボランティアセンター

TEL 0287-47-6700

FAX 0287-47-6690

〒329-2705 那須塩原市南郷屋 5-163

（健康長寿センター内）

Eメールアドレス v.center@ns-shakyou.jp

★メール、FAX、電話でみなさまの感想や情報をお寄せください。



【QRコード】



▲社協公式 LINE



▲ボランティアセンター情報誌



▲那須塩原市社協フェイスブック